TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

サントス港における通関職員のストライキ激化

TOKIO MARINE NICHIDO
東京海上日動火災保険株式会社

（2018 年 5 月 18 日）

2017 年 10 月末に始まったブラジル・サントス港でのストライキについては、2017 年 12 月 1 日号でお伝えしておりますが、今号ではその続報をお届け致します。

1. 勢いを増すサントス港のストライキ

サントス港はブラジル最大の港であり、コンテナ取扱量は 2017 年で 385 万 TEU、2018 年 1～2 月も前年同期比 111.9%と、近年ますます増大しています。

このサントス港において、税関職員によるストライキが 2017 年 10 月末より行われていますが、4 月下旬以降、より一層活動が激化しており、物流に深刻な影響が出ています。これまで週 1 日の頻度で行われていた終日ストライキは週 3 日に増え、1 日あたり延べ 4,000 本のコンテナに通関の遅れが発生しており、中には輸入手続きが 20 日以上滞っている貨物もあるようです。

写真：ロイター/アフロ

2. 自動車業界への影響

長期間にわたるストライキの影響で、多くの企業が打撃を受けていますが、特に自動車業界への影響は甚大です。ブラジルには各国自動車メーカーの工場が集結しており、完成車の年間生産台数は 270 万台と世界第 9 位、自動車部品の年間輸入額は 118 億 US ドル、輸出額も 65 億 US ドルに上ります。自動車業界は、国内外の拠点間を絶え間なく部品が流通するサプライチェーンによって支えられているため、通関の遅れにより部品在庫量が減少し、自動車生産ラインにまで影響が波及しています。

3. 今後の展開

ブラジルの高等裁判所はこのストライキ活動を法的に正当なものと判断しており、ストライキ中も職員に満額が支払われるこの裁定、更にはテメル大統領の政策にまで批判が集まっています。企画省などの政府機関は解決に向けて業界・関連団体と対話を重ねていく姿勢を示していますが、税関職員による賃金・年金の増額要求がどのように解決されるかの見通しは立っていない状況です。

【弊社グローバルネットワーク　～ブラジル営業・損害サービス体制のご紹介～】

ブラジルにおいては、弊社現地法人 Tokio Marine Seguradora S.A.社が、サンパウロおよびほか 18 州の全 54 拠点にて、お客様の事業活動に必要な保険商品をご提供しております。また、損害サービスについても、保険金のお支払に加え、弊社米国 TM Claims Service Inc.社と連携して、物流調査やブラジル固有のリスクをふまえたロスプリベンション・リスクマネジメントのご提案を行っております。ブラジルでの保険に関するお問合せは、弊社営業担当へお願い致します。

◇◆

・JOC.com「Santos customs officer's strike intensifies」JOC.com, 2018 年 4 月 27 日（最終閲覧日：2018 年 5 月 17 日）
https://www.joc.com/port-news/south-american-ports/santos-customs-officers%E2%80%99-strike-intensifies-causing-longer-cargo-delays_20180427.html

・JOC.com「Santos customs strike escalates, spreads nationwide」JOC.com, 2017 年 11 月 3 日（最終閲覧日：2018 年 5 月 17 日）
https://www.joc.com/port-news/south-american-ports/port-santos/santos-customs-strike-escalates-spreads-nationwide_20171103.html

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html